

教育委員会広報紙 NO.3

～大淵二小学区の学校教育について～

令和4年3月11日発行
富士市教育委員会
教育総務課 教育政策担当
TEL：0545-55-2865
FAX：0545-53-8584

2月21日（月）に行われました「教育委員会会議」において、大淵第二小学校の編入統合に関する方針が決定されました。

今後は、これまで提案してまいりました支援策が滞りなくできるよう、具現化に努めてまいります。

<富士市立大淵第二小学校の編入統合に関する方針>

- ・富士市立大淵第二小学校は、令和5年4月に富士市立大淵第一小学校へ編入統合する。
ただし、令和4年度の新入生は、令和4年度から大淵第一小学校に入学する。

2月21日（月）に、富士市教育プラザにて「教育委員会会議」が開催され、上記の富士市立大淵第二小学校の編入統合に関する方針が決定されました。

今後は、編入する子どもたちや保護者の皆様の不安、そして地域の皆様の不安を少しでも解消できるよう対応してまいります。

当日の会議の場では、「子どもたちの人数があまりにも少なくなってくると、これからの時代に必要とされる教育を提供できなくなってしまうのではないか」「学校の編入統合に関する不安は、保護者の視点と地域住民の視点とで異なる。保護者の支援は、個別面談などから把握できるが、地域住民の不安に対し、教育委員会としてどのように対応していくか」といった議論がなされました。それについて事務局から、学級編成や教職員の人事異動などで、編入することになる子どもたちの不安要素を軽減できるよう計画していること、跡利用が決定するまでは、地区活動や避難場所としての活用ができるよう、各課と連携協力していることなどが報告されました。また、共働きのご家庭が多いことから、スクールバスの運行方法や富士本児童クラブの利用についても、議論が及びました。

これまで開催してきた「考える会」や、各説明会でいただいたご意見などを含め、様々な観点から議論した結果「教育委員会としての第一義は、子どもたちの将来のために、いかに教育環境を充実させるかである。学校の適正規模・適正配置は、子どもたちの豊かな学びのために必要なことであるので、原案のとおりとする。」と議決されました。

ただし、地域の方々から、愛着のある学校がなくなることに對する不安の声もあることから、地域の方々の意見を伺う場を設けていくよう、教育委員の皆様から提言がありました。

特に、学校施設の跡利用につきましては、これまでの各説明会でも担当からお話しさせていただきましたように、大淵地区の皆様から多くのご意見を伺いつつ、関係各課と連携・協力してまちの魅力向上や賑わいの創出に資する利活用方法を探ってまいります。

また、避難所の指定につきましては、編入統合後も、大淵第二小学校が避難所として利用できる期間は、今までどおり地区の方が避難できるようにしていきます。その後の避難所の確保については、跡利用決定後の避難所としての継続的利用の可能性を含め、市として十分に検討してまいります。

子どもたちが、期待感をもって編入統合を迎えられるためには、多くの皆様のご理解とご協力が欠かせません。なにとぞ、子どもたちの新しい学校生活のために、力をお貸しくださいますようお願い申し上げます。

富士市教育委員会 教育総務課

・この件について、ご意見やご要望などがありましたら、富士市教育委員会教育総務課までご連絡ください。



教育総務課メールアドレス 富士市ウェブサイト

